

(様式第7号)

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 2 年 6 月 30 日

作成者：熊懷 賀代

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
NPO法人「絵本で子育て」センター・絵本講師の会	
事業名	日時(期間), 場所
芦屋市 「たゆまぬ平和への歩み」展に参加	令和元年7月 芦屋市役所北館1階 展示スペース
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
「平和への歩み」ということで、広く過去の戦争を描いたものや、核についてとりあげたもの、人権や多文化共生、そして平和を願うテーマで描かれた絵本、約110冊を取り上げ、紹介するパネルを展示。絵本を手にとって読んでいただける日も設定した。今年、絵本の内容を世界で実際に起こった出来事と併記する形をとったり、中学生向けの選書リストを作成して、中学校の平和学習日に合わせてポスターチラシの配布もしていただいたりした。	アンケート参加者含む (約70)人
	参加者数
	期間中のべ (約100)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
今回は、世界で実際に起こった戦争や紛争、核の事故や実験、ノーベル平和賞の受賞など、出来事も合わせて年代を追って展示してみたところ、「絵本を読んで、歴史の授業で名前だけ覚えていたのは、そういうことであつたのか、はじめてわかった」「勉強になる」といった反響があった。遠い昔の、自分とは関わりのないこと、と思っていたことでも、絵本は読む人の想像力や感情を呼び起こして、現在の世の中や読んで人自身につなげることとして考えさせる力があるのだと感じた。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
猛暑の時期であり、なかなか足を運んでもらうことが難しいが、アンケートに協力してくださった方の声からは、「こんなたくさんの方の平和の大切さを伝える絵本があるとは知らなかった」「ぜひ子どもとも読みたい」などの、平和を願う思いが伝わった。担当の人権推進課だけでなく、市立図書館や学校教育課とも連携されて、市立幼稚園では、催しの選書リストから全園に3冊ずつが購入されたと同様。子ども達が日々読んでもらえることはとても嬉しく思う。今後も、私たち団体独自の活動も含めて、このようなテーマについて、子ども、中・高・大学生から大人まで、絵本を通じて共に考えていきたい。	